

【特別調査】

トランステック、マインドフルネス瞑想 の需要動向と市場予測に関する調査

- 瞑想支援機器、アプリ、意識テクノロジーの未来戦略 -

〈調査報告書〉

Marketing & Consulting for the mission

株式会社AQU先端テクノロジー総研

AQU Technology Research Institute, Inc.

トランステック、マインドフルネス瞑想市場調査プロジェクト

<https://www.aqu.com/>



【特別調査】

トランステック、マインドフルネス瞑想 の需要動向と市場予測に関する調査

-瞑想支援機器、アプリ、意識テクノロジーの未来戦略-

〈調査報告書〉

2020年12月



Marketing & Consulting for the mission
株式会社AQU先端テクノロジー総研
AQU Technology Research Institute, Inc.
トランステック、マインドフルネス瞑想市場調査プロジェクト
<https://www.aqu.com/>



ISBN 978-4-904660-44-7

はじめに

- 最先端テクノロジーとして、最近にわかに注目されてきた、トランステック(TransTech)。それは、トランスフォーマティブテクノロジー(Transformative technology=変化を促す技術)のことであり、ITに脳科学や心理学を組み合わせ、人間の心身の成長をサポートするものである。またメンタル、感情、心理面において人間の心身の健康(Well-being、心身ともに満たされた状態)を実現するテクノロジーであり、人間の進化を支援する技術ともいわれる。トランステック・ビジネスの市場は広範な領域を含み、内訳としてはメディテーション、フィットネス、メンタル治療、神経テクノロジー、感情認識、ウェアラブルなど多岐にわたる。今後、市場規模は3兆ドル規模になるとの試算がある。
- トランステックが全世界に拡がろうとしているが、振り返って日本の関連市場を見渡してゆくと、すでにトランステックの萌芽が日本にあったといってもよいのでは、と思われることがある。弊社では、1994年に、『こころビジネス(ハイパーブレイン)に関する調査』を行った。当時注目された研究者や製品開発を調査したが、この中に、左右の耳からそれぞれ違う周波数の音を聴かせると、その周波数の差により、頭の中にうなり音が生じ、α波が出せるという製品を政木和三博士(1916~2002年)が開発していたという記載がある。当時、音楽業界のヒット曲ランキングなどを手掛けていた会社の社長は、人気や感動のメカニズムを研究していたが、この製品を上手に使っていくと、呼吸法や瞑想を行う時に、早く変性意識状態に入れると話していた。
- 現在、世界的にはマインドフルネス瞑想アプリの利用が拡がっている。同アプリは、世界的な新型コロナウイルスの拡がりを背景に、ストレスの軽減、集中力の向上などの目的で企業の社員向けや一般利用者向けに急速に市場拡大している。
- マインドフルネス瞑想アプリの世界市場規模は、2020年、375百万ドル(見通し)であり、2021年、550百万ドルと予測。5年後の2025年には、2,240百万ドルになると予測される。ここ数年高い伸び率で推移、2023年以降、年平均成長率は40%強で推移してゆくと見ている。キープレーヤーとしては、Headspace、Calmなどがあり、日本でもラッセルなどのマインドフルネス関連企業が注力している。
- マインドフルネス瞑想、あるいはヨガ、禅といったものが、ウェルビーイングにつながっており、ここにおいて、瞑想を核としたビジネスはトランステックの重要なフィールドとして発展してゆく可能性がある。瞑想の科学、意識テクノロジーの研究は、瞑想支援ハード、アプリ、サービスを拡大発展させてゆく。こうした技術はAI、ビッグデータ、生体センサーなどとも融合し、関連市場を活性化させてゆくと考えられる。
- ところで、「人間は自己実現に向かって絶えず成長する」という仮説をもとに、マズローは欲求5段階説を唱えている。調べてゆくと、トランステックの究極の本質は、5段階のさらに最上位に位置づけられる、「自己超越」欲求と考える研究者がいる。シリコンバレーのコンファレンスでは、Me+We=MWe (わたしから、わたしたちへ)という視点が論ぜられた。意識が高まってゆくことは、自分自身のことだけでなく、利他、他を思いやる心にもつながってゆく。豊かな社会づくりにも関係する。
- 2,400人の意識調査では、「瞑想することがある」と回答した人の71.0%が、睡眠改善アプリに関心を持っている。また、61.9%が、脳波誘導シンプル機器に関心を持っている、また、61.7%が、瞑想室(瞑想ポッド)に関心を持っている、ということが分かった。瞑想アプリサービス、支援機器システムの潜在需要は大きいと考えられる。当調査報告書は内外の市場動向、実際の需要動向調査をふまえ、トランステック、とりわけ、マインドフルネス瞑想関連の市場動向、市場予測、さらに、ビジネス戦略構想についてまとめた。当調査報告書が皆様のビジネス開発、研究開発、製品サービス開発に少しでも寄与できれば幸いである。

【調査概要】

■ 調査テーマ



【調査ポイントの一例】

トランステック、マインドフルネス瞑想のビジネスビジョン

トランステック市場 世界900兆円超

瞑想の科学
マインドフルネス瞑想
意識テクノロジー

WellBeing
本当の幸福

人間の心身の成長をサポートする技術、ビジネス市場の拡大

2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 (年)

Transformative Technology「意識に変革をもたらすテクノロジー」

■ビジネス系 感情認識 瞑想アプリ、企業トレーニング、メディテーションポッド、アイソレーションタンク、神経テクノロジー、……

■パーソナル系 瞑想アプリ、瞑想支援機器、ウェアラブル、フィットネス、メディテーションポッド、アイソレーションタンク、……

※当調査は注目製品サービス

「瞑想することがある」と答えた人の7割、10人に7人は、睡眠改善アプリに関心!

「瞑想することがある」 16.4%

「ぜひ使ってみよう、使ってみよう」 71.0%

「瞑想することがある」と答えた人は、71.0%が、睡眠改善アプリに関心を持っている。

2,400人 意識調査
(AQU先端テクノロジー総研 2020年12月8日～12月11日 実施)

「瞑想することがある」と答えた人の6割、10人に6人は、脳波誘導シンプル機器に関心!

「瞑想することがある」 16.4%

「ぜひ使ってみよう、使ってみよう」 61.9%

「瞑想することがある」と答えた人は、61.9%が、脳波誘導シンプル機器に関心を持っている。

2,400人 意識調査
(AQU先端テクノロジー総研 2020年12月8日～12月11日 実施)

「瞑想することがある」と答えた人の6割、10人に6人は、瞑想室(瞑想ポッド)に関心!

「瞑想することがある」 16.4%

「ぜひ使ってみよう、使ってみよう」 61.7%

「瞑想することがある」と答えた人は、61.7%が、瞑想室(瞑想ポッド)に関心を持っている。

2,400人 意識調査
(AQU先端テクノロジー総研 2020年12月8日～12月11日 実施)

※ 調査の一部

■ 調査スケジュール

2020年8月1日～2020年12月22日

■ 調査担当



Marketing & Consulting for the mission
株式会社AQU先端テクノロジー総研
AQU Technology Research Institute, Inc.
トランステック、マインドフルネス瞑想市場調査プロジェクト
<https://www.aqu.com/>
Info@aqu.com

【目次】

はじめに 調査概要

第1章.【総括編】 コロナ禍を契機に注目されるトランステックのビジネス戦略	1
1. トランステックの市場ビジョンと今後の市場戦略.....	2
(1). トランステックの市場ビジョン.....	2
(2). トランステックの今後の市場戦略.....	5
2. 精神疾患の現状とコロナ禍における自死の現状、期待されるサービス.....	7
(1). 精神疾患の現状とコロナ禍における自死の現状.....	7
(2). 期待されるサービス.....	9
3. 期待されるマインドフルネス瞑想の科学、意識テクノロジーの研究.....	13
(1). マインドフルネス瞑想の科学、意識テクノロジーの研究の重要性.....	13
(2). トランステック関連、注目される企業機関の研究開発動向.....	14
第2章. トランステック、マインドフルネス関連製品サービスの市場規模予測	18
1. トランステック、マインドフルネス瞑想の市場分析との市場展望.....	19
(1). トランステックの概要.....	19
(2). トランステックの対象領域、対象分野、サービス.....	19
(3). トランステックの課題と開発動向.....	21
(4). トランステックにおける有力企業の動向.....	23
(5). トランステックの市場規模予測.....	27
(6). マインドフルネス瞑想関連の市場規模と今後の市場展望.....	28
(7). マインドフルネス瞑想アプリの市場規模と今後の市場展望.....	29
2. トランステック関連市場の動向と市場展望.....	30
(1). 感情テクノロジー製品の市場規模と今後の市場展望.....	30
(2). ブレインテック市場規模と今後の市場展望.....	31
(3). ウェアラブルサービスの市場規模と今後の市場展望.....	32
(4). 脳波、脳計測の市場規模と今後の市場展望.....	33
(5). 瞑想アプリケーションの市場規模と今後の市場展望.....	35
(6). デジタル薬の市場規模と今後の市場展望.....	36
(7). VR医療の市場規模と今後の市場展望.....	36
(8). 自己啓発の市場規模と今後の市場展望.....	37
第3章. 最先端・瞑想支援機器・アプリケーションの需要動向と市場展望	38
1. 瞑想支援機器・アプリケーションの概要.....	39
(1). 瞑想支援機器(ブレイン・マシン)の概要.....	39
(2). アプリケーションの概要.....	40
2. 瞑想支援機器・アプリケーションの需要探索と市場規模予測.....	42
(1). インストラクター、メンタルトレーニングサービスの動向.....	42
(2). マインドフルネス瞑想関連の市場規模と市場予測.....	46
(3). マインドフルネス瞑想アプリの市場規模と市場予測(世界市場、金額ベース).....	47
(4). 注目される、瞑想支援機器の効果.....	48

(5). 注目される、瞑想支援アプリ、コンテンツの効果.....	54
(6). その他関連情報（瞑想」が持つポジティブ効果ほか）.....	55
3. 瞑想支援機器、ブレイン・マシン、瞑想支援システムの動向.....	59
(1). ボイジャーエクセル.....	59
(2). アルファ・シータ、シンプル瞑想.....	63
(3). マイトレーナ.....	65
(4). メディテーションポッド.....	66
(5). アイソレーションタンク(フローティングタンク).....	67
4. マインドフルネス瞑想音楽、音楽療法コンテンツの特徴と比較.....	72
5. マインドフルネス瞑想音楽、音楽療法コンテンツの動向.....	74
(1). 瞑想音楽.....	74
(2). インナーピース.....	74
(3). ブレインシンク.....	75
(4). ヘミシンク.....	76
(5). ホロシンク.....	77
(6). Brain Sound Quest.....	77
6. 瞑想アプリサービスの比較と動向.....	79
7. 注目される瞑想アプリサービスの動向.....	83
(1). リルック(Relook).....	84
(2). Meisoon.....	84
(3). RussellME.....	85
(4). muon / 寝たまんまヨガ.....	85
(5). メディトピア(Meditopia).....	86
(6). マインドフルネス・アプリ.....	86
(7). メントレ(メンタルトレーニング).....	86
(8). Relax Melodies.....	86
(9). ココルス(cocorus).....	87
(10). Awarefy.....	87
(11). numina.....	87
(12). calm.....	87
(13). headspace.....	88
(14). Tide.....	88
(15). Muse: Meditation & Sleep.....	88
8. 脳波誘導手法の動向.....	89
(1). 光の点滅のリズム.....	89
(2). 体へのタッチのリズム.....	90
(3). 音のリズム.....	90
(4). 音の周波数.....	90
(5). バイノーラルビート.....	90
(6). モノーラルビート.....	91
(7). バイノーラル・フェイジング.....	92
(8). ハーモニック・マトリックス.....	92
(9). Brain Sound Quest.....	93
(10). 聴覚視覚刺激(AVS).....	94
9. その他関連情報（脳波をシータ波にする9つの方法）.....	95

第4章. トランステック、瞑想関連ビジネスの注目企業動向編..... 99

1. トランステック、先進企業の事業特徴、比較分析.....	100
2. トランステック、先進企業機関の事業特徴と動向（主な調査対象領域）.....	100
(1). Calm.com Inc.（瞑想アプリ）.....	104
(2). Headspace Inc.（瞑想アプリ）.....	107
(3). ラッセル社（瞑想アプリ）.....	111

(4). InteraXon Inc. (脳波センサーデバイス、アプリ)	113
(5). 株式会社セルパワー (シンプル瞑想)	116
(6). オープンシード社 (メディテーションポッド)	121
(7). 株式会社 Empath (音声感情解析)	124
(8). ELSYS WEST 株式会社 (感情分析)	126
(9). B-by-C 株式会社 (メタロン)	129
(10). 株式会社アカツキ (トランステック)	132
(11). neten 株式会社 (トランステック)	134
(12). モンロー研究所 (変性意識研究、ヘミシンク)	138
2. トランステック、注目技術企業の動向	143
(1). Simple Habit (瞑想アプリ)	143
(2). Oura (ウェアラブルデバイス)	143
(3). Ginger.io (セラピストコミュニケーションアプリ)	144
(4). spire (ウェアラブルデバイス)	145
(5). affective (感情解析アプリ)	145
(6). happify (ポジティブシンキングアプリ)	146
(7). PAVLOK (ソフトバンド型アラーム)	146
(8). focus@will (集中力向上BGM)	147
(9). BIOBEATS (健康管理ソリューション)	147
(10). TRIPP (マインドヘルスVRソフト)	148
(11). eScent (パーソナライズされた香りサービス)	148
(12). uBiome (マイクロバイオームゲノム解析)	149
(13). Vielight (次世代近赤外線ウェアラブルデバイス)	149
(14). Humanyze (カード型センサー行動解析)	150
3. トランステック、関連企業の動向	151
(1). 瞑想アプリ系	151
•Relook 株式会社 •株式会社 LAVA •YOGGY INC.	
•YEDI70 SAGLIK DANISMANLIK •MindApps •keigo matsumaru	
•Ipnos Software Inc. •Excite Japan Co.,Ltd. •HAKALI, K.K.	
•Challengers LLC •Guangzhou Moreless Network Technology	
(2). トランステック関連、その他 (1)	160
•Emotive Inc. •NeuroSky Inc. •Neuralink Corporation	
•Microsoft Corporation •Facebook Inc. •OpenBCI	
•日本光電工業 •NICT、ATR •産業技術総合研究所	
•大阪大学 •PGV 株式会社 •リトルソフトウェア	
•電通サイエンスジャム •プロアシスト •脳力開発研究所 •NeU	
(3). トランステック関連、その他 (2)	163
•川崎重工 •JSOL •メディ・アシーク •フィリップス	
•Neuronetics •Halo Neuroscience •ニールセン •Looxid Labs	
•NeuroChat •Advanced Brain Monitoring •neumo •REMEM	
•日本メクトロン •オムロン •シオノギ製薬 •本田技研工業	
•スリープウェル •NTT データアイ •フューテックエレクトロニクス	
第5章. トランステック、マインドフルネス瞑想に関する意識調査編	170
1. トランステック、マインドフルネス瞑想に関する意識調査・調査分析概要	171
2. トランステック、マインドフルネス瞑想に関する意識調査・集計分析	176
(1). Q1. 心の健康づくりについての関心 (瞑想、ヨガ、禅など)	177
(2). Q2. 瞑想メディテーションの方法	179
•瞑想アプリ •脳波誘導装置 •簡易型脳波計 •ブレインマシン	
•瞑想ポッド •アイソレーションタンク •その他	
(3). Q3使ってみたい製品、アプリ、サービス	182
•脳波誘導機器 •ブレインマシン •瞑想ポッド •アイソレーションタンク	

	・瞑想音楽アプリ	・睡眠改善アプリ	・脳力開発アプリ	・免疫力向上アプリ
	・ストレス解消アプリ	・集中力養成アプリ	・自己超越アプリ	・その他
(4).	Q4. トレンドキーワード.....			
	・トランステック	・ブレインテック	・マインドフルネス瞑想	・意識テクノロジー
	・呼吸法	・音楽療法	・心理療法	・森林療法
				・自己超越
				・その他
(5).	Q5. 回答者の趣味、経験、感じていること等.....			
(6).	Q6. トランステック、マインドフルネス瞑想に対する期待と日本の使命.....			
	10代/20代/30代/40代/50代/60代以上			
(7).	Q7. トランステック、マインドフルネス瞑想の未来ビジョン.....			
	10代/20代/30代/40代/50代/60代以上			
(8).	回答者2,400人のプロフィール、回答者500人のプロフィール.....			
3.	クロス集計分析—瞑想支援機器、瞑想アプリの欲求度等.....			
(1).	瞑想支援機器への欲求度.....			
	・脳波誘導シンプル機器	・ブレインマシン(光、音、香りなど)		
	・瞑想室(ポッド)	・アイソレーションタンク(体の癒し)		
(2).	瞑想アプリの欲求度.....			
	・ストレス解消アプリ	・体調リズム管理アプリ	・音楽瞑想アプリ	
	・集中力養成アプリ	・睡眠改善アプリ	・免疫力向上アプリ	
	・脳力開発アプリ			

第6章. 意識テクノロジー未来市場編 (最先端科学理論仮説ベース)..... 235

1.	スピリチュアルにおけるビジネス新潮流、注目される需要拡大.....			
(1).	スピリチュアル(擬似科学的領域)の定義.....			
(2).	スピリチュアル・ビジネス市場の動向と今後の展望.....			
(3).	米国スピリチュアル市場と日本のスピリチュアル市場.....			
(4).	スピリチュアルとトランステックとの関係性.....			
(5).	トランステックの源流か? 日本のパラメリー開発の事例研究.....			
(6).	トランステックにおける、日本ベンチャー企業の注目される動向.....			
(7).	最先端宇宙論、量子力学と意識テクノロジーの動向.....			
(8).	個人、小企業主体の市場構造と今後の市場展望.....			
2.	仮説研究から見た、未来型ビジネスと、AI、IT技術応用の可能性.....			
(1).	人間コンピュータと宇宙情報システムの関係性.....			
(2).	最先端テレパシーの研究開発.....			
(3).	生命エネルギー素粒子と、呼吸、周波数、共鳴、共振のメカニズム.....			
(4).	注目される統合医療、代替医療、新DNA仮説、最先端遠隔医療.....			
(5).	パラレルワールドと人間の意識.....			
(6).	ゼロポイントフィールドと人間の意識.....			
(7).	アカシックレコード(宇宙図書館)、アクセス法とコンサルティングビジネス.....			
(8).	その他関連情報(シンクロニシティ、宇宙意識、量子脳理論).....			
3.	【最先端仮説と研究開発構想】チャネリングのメカニズムと今後のIT、AI応用の可能性.....			
(1).	チャネリングの定義.....			
(2).	チャネリングのメカニズムとIT、AI応用の可能性(動物とのコミュニケーション).....			
(3).	チャネリングのメカニズムとIT、AI応用の可能性(植物とのコミュニケーション).....			
(4).	チャネリングのメカニズムとIT、AI応用の可能性(ヒトとのコミュニケーション).....			
(5).	チャネリングのメカニズムとIT、AI応用の可能性(ハイパーセルフとのコミュニケーション).....			
(6).	チャネリングのメカニズムとIT、AI応用の可能性(宇宙生命、異次元とのコミュニケーション).....			
(7).	IT、AI、脳波の応用による空飛ぶ特殊飛行体(円盤)のメカニズムと今後の開発.....			
4.	これからの新発想、意識テクノロジービジネス、アプリ開発の可能性.....			
(1).	VR、AR、MR活用の医療ビジネスにおける注目される動向.....			
(2).	自己啓発および、健康市場の注目される動向.....			
(3).	注意すべき、医薬、医療法の法律の動向と過去の教訓.....			
(4).	注目される健康ビジネスと、可能性秘める意識テクノロジービジネス.....			

第7章. 未来ビジネス企画構想編 290

1. 瞑想支援機器と、動植物コミュニケーション機器の開発戦略.....	291
2. 脳波をAI学習に活用、脳波を使った画像AI入力	300
3. AIハイヤーセルフ、コーチング瞑想の可能性	305
4. 瞑想体験ツアー、パワースポット観光、バーチャル観光の新潮流.....	309
5. 国家の基本平和戦略につながる瞑想科学、意識テクノロジーの研究.....	312

【主な図表】

図表1. トランステック、マインドフルネス瞑想のビジネスビジョン
図表2. 瞑想する人の脳波誘導シンプル機器関心度
図表3. 瞑想する人の瞑想室(瞑想ポッド)関心度
図表4. 瞑想する人の睡眠改善アプリ関心度
図表5. 瞑想する人の脳力開発アプリ関心度
図表6. トランステック (Transformative Technology)の主な 12 分野
図表7. トランステック先進企業の主な製品サービス
図表8. トランステック (Transformative Technology)のマーケットサイズ
図表9. マインドフルネス瞑想関連の市場規模と市場予測(日本市場、金額ベース)
図表10. マインドフルネス瞑想アプリの市場規模と市場予測(世界市場、金額ベース)
図表11. ブレインテックの市場規模
図表12. ウェアラブルサービスの市場規模と市場予測
図表13. 簡易脳波計ヘッドセットの市場規模と市場予測
図表14. 瞑想支援サポートの種類、機器サービス
図表15. 意識のフォーカスレベル
図表16. 音楽療法コンテンツの特徴と比較
図表17. 瞑想アプリサービスにおける料金、コンテンツ等の比較
図表18. 瞑想アプリサービスにおけるサービス特徴等
図表19. 脳波の誘導手法
図表20. 脳波の種類と周波数、特徴
図表21. シータ波、デルタ波とベータ波の波動、支配領域の違い
図表22. 脳波をシータ波にする方法とケーススタディ
図表23. 心の健康づくりについて関心分野
図表24. 瞑想メディテーションの方法
図表25. 使ってみたい製品アプリ(サービス)
図表26. 注目するトレンド・キーワード
図表27. 回答者の経験、感じていることなど
図表28. トランステック、マインドフルネス瞑想への期待と日本の使命、コメント
図表29. トランステック、マインドフルネス瞑想の未来ビジョン
図表30. スピリチュアル・ビジネスの製品・サービス
図表31. トランステック関連製品の出荷累計推移
図表32. ハイヤーセルフ・コミュニケーション

<https://www.aqu.com/>